令和元年度　高松市施策評価表（平成30年度分）

総合計画体系		
まちづくりの目標		安全で安心して暮らし続けられるまち
	政 策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成
	施 策	ごみの減量と再資源化の推進

総合評価
A

評価担当	
局名	環境局
課・室名	環境保全推進課
電話番号	087-839-2393

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）	意図（どのような状態にしたいのか）
ごみを排出する市内の家庭や事業所	ごみの減量と再資源化の推進により、環境と共生する持続可能な循環型社会の形成を目指す。

2 施策の成果状況

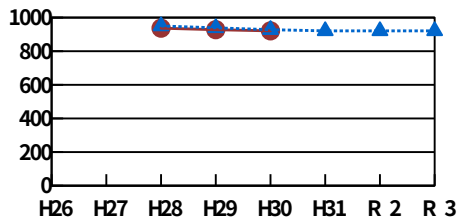
成果指標①

指標名	単位		実績値 28年度	29年度	30年度	中期目標 2年度	長期目標 5年度	指標のうごき
１人１日当たりのごみ排出量	g／人		937	928	921	928	880	

成果状況／達成度評価

施策構成基本事業と事務事業の積極的かつ継続的推進と市民・事業者の「ごみの減量と再資源化」に対する意識の向上等により、目標を達成することができた。

成果状況の推移



目標達成度

（達成度）100.8%

30点

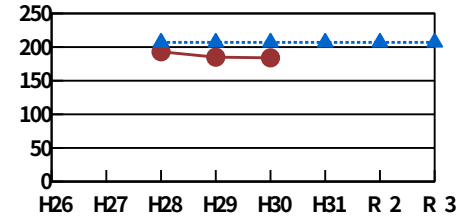
成果指標②

指標名	単位		実績値 28年度	29年度	30年度	中期目標 2年度	長期目標 5年度	指標のうごき
１人１日当たりの資源化量	g／人		193	185	184	207	207	

成果状況／達成度評価

家庭から分別して出された資源ごみや小型家電等のリサイクル、正しいごみの分別方法の周知等によるごみの減量・リサイクルの推進に向けた事業を実施しているが、目標達成には至らなかった。

成果状況の推移



目標達成度

（達成度）88.9%

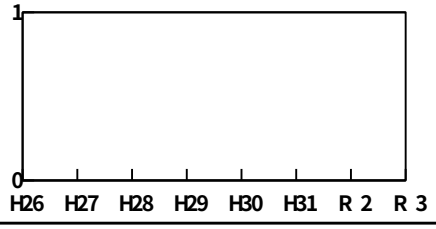
26点

成果指標③

指標名	単位		実績値 28年度	29年度	30年度	中期目標 2年度	長期目標 5年度	指標のうごき

成果状況／達成度評価

成果状況の推移



目標達成度

（達成度）

3 市民満足度調査の状況

	28年度	29年度	30年度	
満足度	6位　（ 37.7%）	7位　（ 34.7%）	24位　（ 26.3%）	
不満度	50位　（ 11.3%）	51位　（ 10.3%）	17位　（ 19.7%）	
重要度	21位　（ 69.2%）	26位　（ 67.7%）	15位　（ 74.8%）	

4 施策に係るコスト

	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（予算）
事業費	374,874	355,631	350,975	397,204
人件費	36,115	34,142	36,298	36,298
トータルコスト	410,989	389,773	387,273	433,502

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題

市民・事業者の「ごみの減量と再資源化の推進」に対する意識の向上と分別の徹底等により、さらにごみの減量と再資源化を進める必要がある。

施策推進の方向性

引き続き、「ごみの減量と再資源化の推進」に積極的に取り組むことにより、環境への負荷の低減と限りある資源の有効利用を通じて、上位目標である政策「環境と共生する持続可能な循環型社会の形成」を目指す。

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名						（総合評価） A	
ごみの発生抑制の推進							
重	マニ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		レジ袋等削減推進事業	95%	A	拡充	協定締結事業者の年間レジ袋削減枚数	97.4%
		事業系ごみ減量推進事業	89%	A	継続	多量排出事業者の廃棄物リサイクル率	90.3%
		家庭系ごみ減量推進事業	88%	A	継続	生ごみ処理機等使用による生ごみ減量値（推定）	85.7%
○		食品ロス対策等推進事業	97%	A	継続	食品ロス認知度	113.1%

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名						（総合評価） A	
ごみの減量・リサイクルの推進							
重	マニ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		家庭系ごみ有料化事業	98%	A	継続	有料指定収集袋使用枚数（特小換算）	99.4%
		ごみ減量・資源化啓発事業	96%	A	継続	プラスチック容器包装ごみの再資源化割合	96.8%
		ごみ再資源化事業	100%	A	継続	缶・びん・ペットボトル資源化量	105.1%
						プラスチック資源化量	102.4%
		小型家電等リサイクル推進事業	69%	C	継続	年間回収量	70.0%

基本事業名						（総合評価）	
重	マニ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度